

平井昭夫

あき お

いのち、くらし、くわがまちを輝く県政を

みんなの会 (あたたかい民主県政をつくるみんなの会)
革新・無所属 (日本共産党推薦)

平井さん物語

平井昭夫さんは、ひとことと言えば「苦勞人」です。社会的弱者、貧しい人たちの悩みを自分自身の悩みとして、肌で感じることでできる苦勞人なのです。

平井さんは、十月から高梁市となる川上郡成羽町に六人兄弟の四番目として生まれましたが、三歳のとき母親を亡くし、親戚に預けられて育ちました。中学卒業後、岡山市の紙問屋に就職しました。中卒生は「金の卵」と言われた頃でした。その後間もなく夜間の定時制高校に入学、有森茂夫先生(オリンピックのメダリスト有森裕子さんの父)をはじめ、めすぐれた先生方の薫陶を受けました。

青年期に平井さんが最も影響を受けた人は、「人間裁判」といわれた朝日訴訟の朝日茂さんでした。民青同盟員だった十八歳の平井さんは裁判闘争支援のため朝日さんを訪問したのですが、励ますどころか逆に朝日さんから憲法二十五条の人間が人間らしく生きる権利を教えられ、大きな感銘を受けました。後年、平井さんは、県医労連書記長、県社保協事務局長など労働運動、社会保障闘争、原水爆禁止運動の牽引車として活躍することになります。その原動力は朝日茂さんとの出会いだったと言われます。

平井さんは、乳幼児医療費無料化運動でも先頭に立ちました。自治体交渉でも市町村キャラバンでも住民運動のあるところ平井さんあり、と言われるほどです。

略歴

一九四四年一月生まれ。岡山市立岡山商業高校卒業。水島協同病院従業員組合専従、日本医労協(連)常幹・中央執行委員、岡山県総評常任幹事など歴任。現在、岡山県労会議副議長、岡山県社会保険推進協議会事務局長など。倉敷市水島在住。

改憲と増税 ステップへ県民運動の先頭になちます

石井県政は、「医療・福祉・教育分野で県民に冷たい県政」「チボリ・苫田ダムなどムダづかい推進県政」です。このことは、最近、乳幼児医療費の県費助成問題で岡山市議会が「補助率を元に戻せ」と全会一致の意見書をあげたこと、苫田ダム完成に伴い岡山市の負担が9億円以上増え水道料金的大幅値上げが問題になっていることをみれば明らかです。



04年原水禁大会（ヒロシマ）にて

いのち・くらし

ムダづかいを見直し、福祉と医療を充実

子どもの医療費を外来・入院ともに就学前まで、障害者医療は3級まで拡大するなど単県医療費助成制度の拡充をはかります。岡山市・倉敷市への補助率は、元の2分の1に戻します。

リストラ・雇用

3万人の新たな雇用を創出します

企業の身勝手なリストラを規制し、青年層の雇用対策の強化、医療や福祉・介護・教育など生活分野の雇用拡大をはかります。また、サービス残業をなくすなどしてあわせて3万人の雇用を創出します。

憲法・平和

平和憲法と教育基本法を守ります

世界で最もすすんだ平和憲法を守り、県政にいかして、住民の平和と安全を守る自治体の役割を果たします。
30人学級を実現し、一人ひとりが大事にされる教育条件の整備をすすめます。

平井昭夫のお約束

- 10 憲法と教育基本法の改悪、消費税増税の政治に地方から反対の声を上げる。
- 9 憲法九条を生かす立場から、「有事法制」など戦争への国民総動員に反対し、住民の平和と安全を守る自治体の役割を果たす。
- 8 女性の権利を守り、男女共同参画をすすめる。青年の社会参加を促進し、若者の雇用を保障します。
- 7 汚職・腐敗を一掃し、清潔・公正な住民参加の県政を進めます。
- 6 地方分権に逆行する「三位一体の改革」と、国・県の都合による合併の押し付けを止めさせます。
- 5 環境と財政を破綻させる大型開発優先の県政を転換し、住民サービスを切り捨てる「行財政改革」は見直します。
- 4 コンビナート災害や自然災害対策を強化し、住民の安全を守ります。
- 3 三〇人学級の実現など子育てと教育の環境を整えます。
- 2 個人消費の拡大、農業・地場産業など地域経済の振興で不況を打開し、雇用を確保します。
- 1 医療・国保、介護、障害者福祉、子育て支援など社会保障を県政の最優先課題に。



石井 淳平
みんなの会代表委員

切実な県民要求を全県下に訴える絶好のチャンス。四十年間、医療・福祉、平和の分野で活躍した平井さんに期待します。



田中 千恵子
日本医療労働組合連合会
中央執行委員長

平井昭夫さんは、働く人たちの条件改善の運動などまさに「いのち」の現場でたたかってこられた方。知事としてうってつけの人です。



矢山 有作
元社会党国会議員

「憲法9条」は日本が世界に誇る宝物だ。地方自治の保障でもある。平井さんには、広範な「9条共同行動」の先頭になって欲しい。

**私たちも
すいせんします**